



ぎふ労福協

岐阜県労働者福祉協議会 編集発行人／筒井和浩

vol.119

2022.8.1

岐阜市鶴舞町2-6-7
ワークプラザ岐阜内
TEL(058)248-6029
FAX(058)245-2410

【岐阜労福協機関紙】 連合岐阜・東海労働金庫・こくみん共済coop・岐阜県勤労福祉センター <http://www.gifu-rofuku.jp/>

第68回定期総会を開催

2022年5月26日(木)9:30より、岐阜県勤労福祉センター5階大ホールにおいて岐阜労福協第68回定期総会を開催しました。冒頭、司会の大宮副会長より代議員出席者27名、委任状8名を確認し、規約第21条の総会成立要件を満たしている旨の報告があり、その後、円谷常任幹事が議長に選出されました。筒井会長挨拶では、長引くコロナ禍で露呈した貧困問題・格差や社会分断の拡大に対し、国・地方自治体での公助の力の発揮による安心して暮らせる社会基盤の確立が求められていることを念頭に、そのために私たちは、今こそ労働者福祉運動の出番との気概を持ち、共助の輪を広げ、これまでの様子を柔軟に見直し、ポストコロナ社会に向けた労働者自主福祉運動を進めていく決意表明がありました。その後、岐阜県商工労働部労働雇用課 広瀬課長、岐阜市経済部ワークダイバーシティ 安藤推進参与、連合岐阜 鈴木副会長の3名から祝辞をいただき議

事に入りました。報告事項では、栗本事務局次長より2021年度活動報告が提案され、質疑はなく、拍手で承認がされました。第1号議案では2021年度決算報告について吉口事務局次長より提案、2021年度監査報告については小木曾監査が報告され、賛成32名、反対0名、保留0名で承認がされました。第2号議案では、櫻井事務局長より2022年度活動方針(案)および予算(案)について一括提案がされ、質疑はなく、賛成33名、反対0名、保留0名で承認がされました。第3号議案では、櫻井事務局長より岐阜県労働者福祉協議会規約改正について提案がされ、質疑はなく、賛成33名、反対0名、保留0名で承認がされました。最後に足立副会長の閉会の挨拶にて、2022年度活動方針にもとづいて今後の活動を展開していくために全役員・代議員にご協力をお願いをして、定期総会は無事終了しました。



筒井会長



議長 円谷常任幹事



岐阜県 広瀬課長



岐阜市 安藤推進参与



連合岐阜 鈴木副会長

岐阜県勤労福祉センター 第53回定期総会を開催



5月26日(木)岐阜県勤労福祉センター第53回定期総会を開催しました。議事では、第1号議案:理事及び監事の報酬額の件、第2号議案:貸借対照表及び損益計算書承認の件、第3号議案:一般社団法人岐阜県勤労福祉センター定款変更の件について提案し、決議の結果、すべての議案が全会一致で承認されました。

「LGBTQ+出張事業」をテーマに記念講演会を開催

2022年5月26日(木)13:00より、NPO法人 ASTA様を講師に「LGBTQ+出張事業」をテーマに講演会を開催しました。まん延防止等重点措置の実施により、過去2年間開催できませんでしたが、感染症拡大防止対策をしっかりと行った上で、55名参加のもと3年ぶりとなる実開催となりました。講演では、LGBTQ+について、L(レズビアン)・女性同性愛者、G(ゲイ)・男性同性愛者、B(バイセクシュアル)・両性愛者、T(トランスジェンダー)・戸籍の性別と認識している性別が一致していない人、Q(クィア・クエスチョニング)・規範的な性のあり方以外を包括する概念・わからないと感じる人などについて説明の後、3名の方のライフヒストリー(個人史、自分史)があり、LGBTQ+の認識が高まりました。講演終了後には、差別や偏見がなく多様性が認められる社会にしていきたいという思いから、性的マイノリティの人々を理解し、支援する立場を表明する人々、ALLY(アライ)が持つLGBTQ+のシンボルカラー6色のレインボーパズルを購入される参加者も多数みえました。



岐阜労福協 各支部定期総会開催

(土岐・中恵支部は解散総会)



土岐支部解散総会の様子



中恵支部解散総会の様子

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、岐阜支部・中濃支部・飛騨支部においては書面開催となりましたが、今年度は感染拡大防止対策を講じたうえで全支部において実開催することができました。各支部において、提案した議案はすべて可決されました。土岐・中恵支部は解散することとなりましたが、その活動は新たな東濃支部に引継がれていくことになります。



岐阜支部定期総会の様子



西濃支部定期総会の様子



中濃支部定期総会の様子



飛騨支部定期総会の様子

岐阜労福協東濃支部設立総会開催



東濃支部設立総会の様子



新支部旗披露の様子

2022年6月25日(土)午後1時30分より、瑞浪市地域交流センター「ときわ」において、東濃支部設立総会が開催されました。「労福協の2030年ビジョン」で示されたビジョンの実現に向けた取り組みを図り、ポストコロナ社会に向けての労働者自主福祉活動を進めていく必要があることと、新体制においても、旧支部で従来から取り組んできた共助の輪の拡大を引き続き進めていくことを確認し、支部長 加藤 寛二氏(旧土岐支部)、副支部長 塩寺 広行氏(旧中恵支部)他4名、事務局長 下原 恒男氏(旧中恵支部)をはじめとした役員のみなさんが信任され東濃支部が新たにスタートしました。



東海労働金庫 第22回通常総会開催

6月27日(月)東海労働金庫第22回通常総会は、今年も新型コロナウイルス感染防止・関係者の安全確保の観点から、本店をメイン会場として、岐阜地区2会場、愛知地区4会場、三重地区3会場をサテライト会場とし、テレビ会議方式で開催されました。

第3号議案 役員の一部補充選任の件においては、岐阜地区選出の川村 正浩参与、長嶋良昭参与の2名が理事に選任されました。

その他、全ての議案は可決され、無事終了いたしました。



岐阜県労働者共済生活協同組合 第64回 通常総代会 こくみん共済coop岐阜推進本部 第5回組合員代表者会議開催

7月29日(金)ワークプラザ岐阜において、岐阜県労働者共済生活協同組合第64回通常総代会およびこくみん共済coop岐阜推進本部第5回組合員代表者会議が開催されました。

開催にあたっては、コロナ禍における対応として、「書面議決権」の提出により議決権を行使できることを取り入れ、総代数150名中、出席総代25名、書面議決125名、合計150名の出席で開催され、全ての議案について、満場一致で承認されました。新任役員には、各務 貴洋氏、野村 和徳氏、藤野 誠氏、土岐 良太氏、豊田 由二氏が選任されました。

会員産別への取り組み要請

岐阜労福協では、中央労福協の「全国福祉強化キャンペーン」と連動し、岐阜県内における労働者福祉事業団体(岐阜県労働者福祉協議会、東海労働金庫、こくみん共済coop岐阜推進本部、岐阜県勤労福祉センター)の事業推進や利用拡大に向けた取り組みを展開しています。昨年および一昨年においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文書送付にて要請を行いましたが、今年度においては、4年ぶりの訪問による要請を行ないました。

1.労働者福祉事業団体の広報・宣伝や事業推進の取り組みについて

- (1) 貴組織や加盟労組において、定期大会の運動方針に、労働者福祉事業団体の事業推進や利用拡大に関する方針の記載や補強をお願いいたします。
- (2) 貴組織や加盟労組の取り組みに関する理解を深めるために、定期大会の議案書を各労働者福祉事業団体の担当職員に渡していただきますようお願いいたします。
- (3) 貴組織や加盟労組と各労働者福祉事業団体との更なる連携や、利用促進に向けた取り組みをお願いいたします。
- (4) 貴組織や加盟労組の大会議案書・各種会議資料や機関紙等に、各労働者福祉事業団体の広告の掲載をお願いいたします。
- (5) 貴組織や加盟労組において、各労働者福祉事業団体の事業についての研修会や説明会を企画、開催していただきますようお願いいたします。
- (6) 労働者福祉運動の担い手の育成に向け、岐阜労福協や労福協支部が主催します各種セミナーやイベントへの参加とともに、貴組織においても教育研修の企画・実施をお願いします。
- (7) 上記の取り組みについて、貴組織から加盟労組にご周知下さいますようお願いいたします。

2.各労働者福祉事業団体の利用拡大・促進の取り組みについて

- (1) 東海労働金庫
 - ①家計の見直し運動 ②資産形成(財形・エース預金・投信定時定額)
 - ③知らせる活動の強化(無担保ローンリニューアル・スマート口座)
- (2) こくみん共済coop岐阜推進本部
 - ①団体生命共済 ②住まいる共済(火災共済・自然災害共済) ③マイカー共済・自賠責共済
 - ④こくみん共済・長期生命共済
- (3) 岐阜県勤労福祉センター
 - ①ワークプラザ岐阜会議室の利用拡大 ②ライフサポートセンターぎふの取り組み周知

★消費ネットワーク岐阜第13回総会・記念講演会に参加

2022年5月14日(土)、消費ネットワーク岐阜第13回総会・記念講演会が、新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念も考慮して、昨年に続きWEB会議システムと岐阜市の岐阜大学サテライトキャンパス講義室とのハイブリッド形式として開催され、岐阜労福協からは櫻井事務局長が参加しました。オンラインでは、消費ネットワーク岐阜の会員や関係者、岐阜大学、岐阜女子大学、愛知教育大学の学生などをリモートでつなぎ、52名(会場13名、オンライン39名)が参加しました。

総会は、世話人の奥田真之さんの司会で始まり、大藪代表の開会挨拶に続き、4名の方のご来賓からオンラインでご挨拶をいただきました。3つの議案と会計監査の報告があり、審議では発言は無く、その後の採決ではオンライン画面上で多数の方の賛同があり全議案が承認されました。総会閉会後には、記念講演が開催され、埼玉中央法律事務所の松苗弘幸弁護士から「成年年齢が18歳に引き下げ。若者の消費者被害の実態や決済手段との関係について学ぶ」のテーマで約80分間講演していただきました。



大藪代表のあいさつの様子



松苗弁護士の講演の様子

●中央労福協「2022年度全国研究集会 in 静岡」に参加



6月2日～3日、2022年度全国研究集会が静岡県静岡市内のグランシップ(静岡県コンベンションアーツセンター)において、ハイブリッド形式で開催され、会場には、全国各地から約120名が参加、岐阜からは筒井会長をはじめ6名で参加しました。《“TSU NAGARI”世代を超えて》をテーマに、フリーアナウンサー牧野光子氏の総会司会のもとトークセッションが開始されました。今回の研究集会では、様々な活動を行なう若者とのトークセッションを通じて、世代間の「つながり」を構築することで、私たち労福協の活動の輪を広げることができるのでは、と実感した内容でした。

ファシリテーター

・国立大学法人 静岡大学 学 長 日詰 一幸 氏

トークセッションゲスト

- ・日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団埼玉事業本部
事務局次長 須賀 貴子 氏
- ・一般社団法人 静岡県大学出版会 代表 理事 鈴木 智子 氏
- ・静岡大学 人文社会科学部 3 年 峯永知早紀 氏
- ・労働者福祉中央協議会 事務局 長 南部美智代 氏

お知らせ

チャリティー文化講演会を以下の通り開催します

日 時 2022年11月29日(火) 18時30分 開演予定

場 所 モーリー・ロバートソン氏
(国際ジャーナリスト・ミュージシャン、コメンテーター)

講演テーマ 「今、世界で日本で何がおきているのか？」
～メディアでは伝えきれない本当のこと～

～ その他詳細は、決まり次第お知らせいたします ～

Photo



【啓蒙書】 労福協のマスコットキャラクター

【お名前】 きょうちゃん

【誕生日】 11月26日

【属 性】 イルカ

【性 格】 仲間とコミュニケーションを
かわし、チームワークが良く、
人と関わるのが好き